

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490800093		
法人名	特定非営利活動法人しらゆり		
事業所名	グループホームしらゆり萩		
所在地	大分県竹田市萩町瓜作4575-1		
自己評価作成日	平成27年9月20日	評価結果市町村受理日	平成28年1月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成27年11月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた広い敷地の中で自分の想いを大切に自立した生活が出来るように支援しています。地域の方々とも年に1回ふれあいフェスタを通じて疎遠にならないように努めています。自分たちの食べる物は手造りをしてご家族の方にも分けて喜ばれています。推進委員さんも殆どの方が毎回参加して下さいます、そして年末には門松も作って下さいます。入居者様たちが毎日笑顔で過ごして下さいように努力します

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・遠くに久住山、祖母傾山を眺めながら、四季折々の花を育て、職員と利用者が一緒になって、ゆったりと過ごす場面がある。
- ・食事作りでは、利用者の潜在能力を活かした支援が行われ、3食とも手作りの食事である。
- ・事業所は、保育園の跡地に建てられており、地域との触れ合いが多く、馴染みの人や住民の協力体制が整っている。
- ・地区の有線放送で地域の行事や防災等の情報を把握している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に理念を掲げており、月1度の全体会議において理念を確認するようにしております。	理念を目につきやすい玄関ホールに掲げている。また会議の際に振り返り、実践につながっているか確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	5年目に入り地域に馴染んで来たと思いません、今年の敬老会は公民館が使用できませんでしたが、保育所の園児さん達が遊びに来てくれましたので楽しい日を過ごせました。また今年も愛のトマト便をいただきました。	公民館が近く、シニアクラブや保育所の園児など地域との触れ合いがある。また、トマト便などの野菜の差し入れ、自治会の方が毎年門松を作ってくれたり地域との交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	シニアクラブとの交流で地域の方に啓蒙活動が出来ていると思います。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、民生委員、愛育班、地域の代表、行政、家族の代表等皆さんが積極的会議に参加して下さいます。外部評価についてもご意見をいただいております。	運営推進会議には、自治委員・民生委員・地区の代表・愛育会・行政・家族など、多くの方の参加があり、話し合いでの意見を活かし、サービスの質の向上につなげている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入退所報告、事故報告等を行い、推進会議に於いても参加いただきご、指導して頂いています	入居・退所の報告やヒヤリハットなど事故の報告等を行い、介護課長や専門家からの助言をもらうなど協力関係が築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベランダの窓、玄関は施錠せず、身体拘束をしない介護に全員が取り組んでいます	外門にセンサーを設置しているが、窓・ドア等の施錠はしていない。身体拘束に関して外部・内部で研修を行い、すべての職員が拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュースで虐待が報道された時など見えるところにそれを掲げて如何にそれが非人間的な行為なのかを知る。たけたん絆で研修を行う。		

事業者名:グループホームしらゆり萩

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	しらゆり竹田のケアマネージャが権利擁護講師なので逐一話を聞いたりたけたん絆で研修します		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項等管理者が十分に説明をしております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	最低月1回はご家族が来られますので職員も日々の生活を報告しています、ご家族の要望は全体会議で協議します	面会時の他、しらゆり便りで日々の生活の様子を報告し、利用者や家族の意見や要望を聞き、職員で検討し運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者兼管理者のため職員の提案等はその場で対応できるようにしてます、ミーティングノートを活用してます	職員の意見や要望は、ミーティングノートを活用し、管理者が対応し、検討が必要であれば会議で話し合い反映させている。研修への参加など、スキルアップに意欲が出るような工夫がされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	楽しく働けるよう、月1度の全体会議終了時に食事会をしております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	たけたん絆の研修を利用してスキルアップ出来るよう研修の機会をもうけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	たけたん絆は竹田市内の小規模事業所連絡協議会の事でことしで3年になります、年1回の県内視察を他の事業所の職員と行ったリラクゼーションの研修ももうけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネージャが長い時間をかけて本人の要望を聞き出すようにしています、職員も時折外に連れて行ったりして会話をするように心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の相談相手になれるように努めています、入居者さん以外の事にもお話しできるような努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	通所のかたもいらっしゃるの、本人のしたい事を十分に御家族とも話し合い出来るようにしています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アットホームな雰囲気を作りなんでも話し合える環境を心がけています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間を設けずいつでも自室でお茶を飲みながらお話をさせていただく様に、いつでも来られるように職員はご家族に笑顔で接するように指導しています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族に時々家は家につれて帰っていただいたり、親戚の方にも来ていただけるようにお話をしています	馴染みの関係が途切れないように、家族や知人が訪ねてきやすい雰囲気作りがされており、中には家族で毎週訪ねて来る方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さんと通所の方は話が合わない時が多々あります、時には仲良く話されたり、話さなかったり、毎回一緒にゲームをしたり歌を唄ったり仲間意識を持っていただくように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されても相談員さんにれんらくをして、入院されても時々見舞うようにしています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	月に1度入居者懇談会で要望を聞くようにしています。毎回マンネリな答えですが入居者さんにとっては楽しいように感じます	懇談会や日々の会話の中、家族から思いや意向を聞くなどしている。アセスメントシートに記入し、職員間で共有し、検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント、モニタリング等でご家族の話や本人さんともお話をして経過等把握できるように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルや入浴状況等その日その日の状況に合わせて支援するようにしています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別の担当を決めモニタリングして、介護計画はアセスメントをもとに作成をしている。全員がケアプランを確認して共有している	アセスメントシートを基に介護計画を作成し、個別に担当を決めてモニタリングし、記録がされている。本人・家族などの思いや意向を反映し、現状に即した介護計画である。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の充実、ミーティングノートに気づいたことはすぐ記録して職員間で共有できるように努力しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日飽きないようにそして手紙を書きたい方には時の練習の為大分合同新聞の東西南北書き写しをしています、		

事業者名:グループホームしらゆり荻

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年公民館の改修工事の為にシニアクラブの皆さんとの交流が中止になり他に変わる物は無いかと模索しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診、健康診断をしています。体調不良の時には迅速に対応して頂いています。専門医の受診は家族に変わって職員が対応します	3ヶ所のかかりつけ医による訪問診療や、健康診断が行われるなど、医師との連携がとれている。また皮膚科や眼科など専門医へも、適切な医療を受けられるように、支援されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤看護師がいます、適切な受診や主治医との連携が取れています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供をしています、常時病院の相談員と連絡を取りか家族の意向を伝えるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化、終末期の方針を文書にして説明をしております。医療行為等で不可能な場合はご家族と話し合いをします	重度化や終末期の方針について、入所時に文書で説明し、確認・同意がされている。緊急時には病院と連携して、受け入れ体制がとれる仕組みが作られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習の受講をしています、今年しらゆり荻で3名受講しました、昨年も3名受講しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	推進委員さんの協力をお願いしています、職員の連絡網等整備も出来ています、竹田市は何度も水害にあつてるので水の確保のためタンクの用意があります	年に2回、推進委員の協力のもと、避難訓練を実施している。水のタンクを設置し、備蓄は多めに準備されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入る時には声を掛けて入る、いない時は入っても良いか了解を得るようにしています。親しみのある話し方を心がけています	誇りやプライドを傷つけないよう、言葉づかいに気を付けた声掛けをし、プライバシーに配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の好きな様に暮らして下さいといつも言っていますが時には介護を拒否される方もいますその時は手伝って欲しい時は声を掛けてくださいと言ってます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操やレクリエーションがお仕着せにならないようにしています、参加も自由にしても良いと言ってます、ホールにずっと居る方や自室でお茶を入れてテレビを観る方もいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	夜は寝巻を着ていただくように、自分で用意出来ない方が多いので支援します		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食手作りの食事を楽しんで頂けるように、包丁が持てる方には下準備を手伝っていただきます職員と一緒に食べます	利用者に皮むきなど、一緒に出来るところを手伝ってもらいながら、毎食手作りし、職員と食事を楽しんでいる。手作りの梅干や漬物、しそのふりかけ等、多くの保存食は手作りである。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量がわかるように記録します、水分はお茶以外に牛乳や、ヤクルト、ジュース等取りやすいようにしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が手伝って歯磨きをします		

事業者名:グループホームしらゆり萩

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ポータブルは使用せず、声掛けをしてトイレへいくようにしています、夜間オムツ使用しても日中はオムツは使用しない	日中はオムツやポータブルは使用せず、排泄のパターン表に沿って、トイレへ声掛け、誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動、食事に気を付けています、朝のおやつにはヨーグルトをトッピングに手造りのソースを使います		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の意思を尊重して入浴していただく様にしています、最低週2回入浴します、どうしても職員の都合になってしまいますが努めて希望に添えるように努力します	本人の希望やタイミングを出来るだけ尊重し、入浴を楽しんでもらっている。入りたがらない人もいるが、週2回は入れるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜は静かな環境にあるので安心して寝られるように配慮しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医と薬手帳の確認を行っています、薬が変わったときは職員かんで連絡を取るようになっています、副作用等勉強するようにします		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外でランチ、お茶のみをします、又ボーリング大会もします		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜見物、バス旅行、買い物に道の駅に又ご家族に来ていただいて一緒に食事会もします	保育所の跡地で園庭が広く、園庭内で散歩したり近隣へバス旅行したり、花見や道の駅などでの買い物、家族と一緒にの食事などに出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持って居る方もいますが、買い物に行ったときに御家族からの預り金で対応します		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙はいつでも自由に出来るようにしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床暖房とストーブで暖かく、空気清浄器も使用します、日当たりも良く季節の花も楽しめます	陽当たりがよく、庭の花や樹木が眺められ、季節を感じる事のできる居心地の良い明るい室内である。空気清浄器を使用し、不快なおい等がないよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中ほどに談話室がありたまに入居者さん同士の会話が聞こえます		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族には馴染みの物をおいていただいても良いですと声を掛けています、入居が長くなった方の居室はそれらしくなっています、こたつを持って来てる方もいます	家族との思い出の品や、使い慣れた馴染みの物・写真などが飾られ安心して暮らせる、居心地の良い居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には名札をトイレも分かるように、手摺も出来るだけつけています		